

米国の公園から学ぶ

第2回 「チルドレンズ・ガーデンを作ろう！」

兵庫県立大学大学院 准教授／

兵庫県立淡路景観園芸学校 主任景観園芸専門員 嶽山 洋志

ここ最近、米国の植物園内には子どもの自然遊びや環境学習などをテーマとしたチルドレンズ・ガーデンが多く整備されています。具体的には2015年に整備されたブルックリン植物園のディスカバリー・ガーデンや、2017年に整備されたシカゴ植物園のラーニング・キャンパスなどが挙げられます。今回の記事では2018年度に訪問した6つのチルドレンズ・ガーデンを通じて、米国での自然体験や環境の特徴を紹介したいと思います。

まず、どのチルドレンズ・ガーデンにも見られるのがハンズオン展示で、園内で集めた種などの自然物をケースに入れて他者に紹介する参加型の展示(写真1)や、許可された場所の草花や枝葉を用いて自由に遊ぶスペース(写真2)、落ち葉



写真1 ブルックリン植物園のディスカバリー・ガーデン



写真2 ミズーリ植物園のチルドレンズ・ガーデン

の中に隠れているコオロギを探す展示(写真3)など、実際に手で触れて体感しながら学ぶ展示が随所にみられます。年齢が低くなればなるほどこういった体験型の学習環境は愛護心を育む為に重要です(写真4)。さらに、子どもだけでなく親子での体験となるような仕掛けや、クイズなども見られます。環境学習のプログラムは子どもが主体であることが多いですが、親子での体験とすることで大人も楽しむことが出

来たり、親子関係が豊かになったりする効果があるでしょう。また使われている植物は、オークなどの遊びに使われる植物、ラズベリーなどの食体験に使われる植物、アメリカハナノキなどの季節感のある植物、コルヌスやキササゲなど色や形状が面白い植物が多用されています。さらにバタフライ・ガーデン(蝶の庭)やビー・ガーデン(蜂の庭)など、動物を誘引する植物を集めたスペースも多く見られ、虫取りをして楽しむだけでなく、動物と植物の関係を学ぶことも出来ます。このように子どもたちの遊びや学びに使う植物や、心身の成長に貢献する緑を使用していることも1つの特徴です。

その他にもシカゴのラーニング・キャンパス内にある学習センターは、建物内の光環境の実に90%が自然光を採用していたり、建築資材の95%がリサイクル可能であったり、ランドスケープも地域に自生する植物種を用いてデザインがなされていたりと、建物自体も環境学習の教材として機能しています。色んな仕掛けが折り込まれたチルドレンズ・ガーデンですが、何よりも訪れるだけでワクワクするような環境がそこにはあり、日本での展開もこれからどんどん検討していきたいと思

います。



写真3 ブルックリン植物園のディスカバリー・ガーデン



写真4 シカゴ植物園のラーニング・キャンパス

花緑いっぱい運動推進員研修会の報告

兵庫県下の10地域（県民局・県民センター毎）にて研修会を開催しました。多様な講師に講習を行っていただき、専門的な知識や技術を深め、また、緑のパトロールからは地域の緑化活動の事例報告で、地域内では是非知っていただきたい活動を広める事が出来ました。

■西播磨地域 6月26日（金）

「バラの管理とガーデニングの関係」

ガーデンコンサルタント 花本 仁 氏

バラの年間維持管理及びガーデニングについて、講師の経験事例と農薬の種類、使用方法について学習しました。



■但馬地域 7月22日（水）

「里山の魅力を活かして花緑を広げる方法」

NPO 法人はりま里山研究所 熊谷 哲 氏

里山を背景にしたガーデンの紹介から、プレーパークや学生との活動などの事例や現代の課題などについて学習しました。



■神戸地域 7月27日（月）

「バラの管理とガーデニングの関係」

ひょうごガーデンマイスター 渡辺 拓也 氏

ワイルドフラワー緑化工法での景観創造を、米国の例と日本での導入、講師の取り組みと課題について学習しました。



■丹波地域 7月28日（火）

■淡路地域 8月3日（月）

「1枚上手のバラの育て方（美しさに差が出る）」

有限会社確実園 前野 義博 氏

クイズを基に年間管理のポイントについて、また、剪定や害虫駆除に関する農薬の使用方法を学びました。



■東播磨地域 7月29日（水）

「樹木のクリニック」

樹木医 小西 朋裕 氏

樹木に関するクイズや、樹木の適切な選定方法方法を実際の剪定枝を用いて解説してもらい学びました。



■阪神南地域 7月30日（木）

「コミュニティガーデンとしてのエルフガーデン」

みどりの相談所長 城山 豊 氏

日々生長する植物の景観を飽きることなく鑑賞できるようにするには、知識と技術が必要であることを学びました。



■阪神北地域 8月5日（水）

「緑を活かした『学び』の環境づくり」

兵庫県立淡路景観園芸学校 / 兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科 准教授 嶽山 洋志 氏

小学校でのバタフライガーデン・ビオトープづくりの自然学習や米国での菜園で学びの環境づくりについて学びました。



■北播磨地域 8月21日（金）

「簡単な植物生理を学びましょう」

ガーデンコンサルタント 間島 朗 氏

地球と植物の歴史から、大切に育てる為の正しい維持管理について。また、野外作業の安全対策について学びました。



■中播磨地域 8月28日（金）

「世界のガーデン・日本の花壇 ~カラーコーディネートを生かして~」

ガーデンデザイン研究科家 中山 正範 氏

環境や様式の景観に合わせた色彩計画を学習し、地域のボランティア花壇計画についての相談に乗っていただきました。



花と緑の専門家バンク

専門家と一緒に、 花緑の悩みを解決しませんか？

■事業概要

「花と緑の専門家バンク」は、花と緑のまちづくりに取り組む花緑グループの活動を支援するため、都市緑化や景観園芸分野の専門家、造園や花と緑に関する専門的な知識・技術を有する専門家を派遣する制度です。

事業の概要は以下のとおりです。詳しくはお住まいの地域の県民局・県民センター駐在緑のパトロール隊員にお尋ねください。

花と緑のまちづくり活動をより専門的に深めたい方々の積極的なご利用をお待ちしています。



1 対象内容

- ・緑化施設の維持管理及び植え替え等の診断及び技術指導
- ・花と緑のまちづくりに関すること
- ・緑化施設整備計画の策定や設計に関する助言
- ・花と緑のまちづくりに関わるテーマの講演会・シンポジウム等の講師

2 対象団体

- ・県民まちなみ緑化事業を実施または計画している団体
- ・花と緑のまちづくりを実施または計画している団体

3 費用

- ・講師の費用は、「花と緑の専門家バンク」が負担します。

4 相談・申込

- ・ご相談・申請書提出は、右記該当地域のお問い合わせ先駐在の“緑のパトロール隊員”までお願いします。
- ・実施希望日の概ね1か月前、までに申請してください。

校庭の芝生化

学校や公園などの芝生の施工・維持管理までを、芝生の専門家より講習・指導

樹木の管理

古木や病気の樹木の維持管理・剪定の講習・指導



屋上緑化

屋上緑化の専門家によるデザインから建築強度や季節ごとの維持管理の講習・指導



花壇のデザイン

草花の専門家による、地域の季節に合った植栽デザインや維持管理方法の講習・指導

お問い合わせは、こちら

実施箇所ごとの問い合わせ先にご連絡ください。

実施箇所	お問い合わせ先	郵便番号	お問い合わせ先	電話番号
神戸市	県土整備部まちづくり局 都市政策課緑化政策班	650-8567	神戸市中央区下山手通 5-10-1	078 (362) 3563
尼崎市、西宮市、芦屋市、 伊丹市、宝塚市、川西市、 三田市、猪名川町	宝塚土木事務所 まちづくり建築課	665-8567	宝塚市旭町2-4-15	0797 (83) 3191
明石市、加古川市、高砂市 稲美町、播磨町	加古川市土木事務所 まちづくり建築課	675-8566	加古川市加古川町寺家町 天神木97-1	079 (421) 9402
西脇市、三木市、小野市 加西市、加東市、多可町	加東土木事務所 まちづくり建築課	673-1431	加東市社字西柿1075-2	0795 (42) 9409
姫路市、相生市、たつの市 赤穂市、宍粟市、神河町 市川町、福崎町、太子町 上郡町、佐用町	姫路土木事務所 まちづくり建築第2課	670-0947	姫路市北条1-98	079 (281) 9313
豊岡市、養父市、朝来市 香美町、新温泉町	豊岡土木事務所 まちづくり建築第1課	668-0025	豊岡市幸町7-11	0796 (26) 3757
篠山市、丹波市	丹波土木事務所 まちづくり建築課	669-3309	丹波市柏原町柏原688	0795 (73) 3863
洲本市、南あわじ市 淡路市	洲本土木事務所 まちづくり建築課	656-0021	洲本市塩屋2-4-5	0799 (26) 3213

花と緑の専門家バンク事務局

(公財) 兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター

TEL.078-918-2405

グリーンメッセージ

新型コロナ・ウイルス感染症と身近な公園の利活用

兵庫県参与・(公財)兵庫県園芸・公園協会顧問
石原 憲一郎

地域の皆さんやお友達と一緒に花緑活動をされている皆様にとって、新型コロナ・ウイルス感染症拡大を避けての在宅機会が多くなり、大変辛くて厳しい日々が続いていると思います。また、それに伴いこころからだが健康二次被害となり、免疫低下による感染拡大の悪循環も不安です。昨年の同時期には、マスクも三密もソーシャルディスタンスも全く無縁で何気なく過ごしてきた日々がなんと素晴らしかったかため息をつくこともあります。

今後は、ウイルスとの共存を前提に、新しい生活様式を構築しながら「幸福」「生きがい」「健康」など求めていく努力が重要と認識しています。

この様なことから、改めて都市に生活する健康づくりのオアシスとして、公園や緑地を拠点として見直し、大いに活用しようではありませんか。私たちが生活する地域には、都市の肺臓と言われた公園や緑地が数多くあります。大震災や災害等の非常時には、その存在価値を大いに示してくれるのです。

公園緑地は植物を中心に自然の移ろいや生物多様性を感じ取り、「生きること」を感じる場であり、身体を動かし全身の血流を促すための空間や仕掛けがあり、休校園・在宅リモートワークが急増しているなか、様々なストレスから解放してくれます。なかでも、子ども達にとってこころからだが健康・成長を考える上で極めて重要な空間です。

健康増進の利用促進については、公園管理者(指定管理者含む)、地域住民、公園利用者、さらに、管理ボランティア、医療や福祉、スポーツ関係者が、新しい生活様式を踏まえ専門のインストラクターを準備するなど、利用者の感染症拡大防止対策を必須とした工夫で様々な健康増進プログラムを提供できれば素晴らしいと考えています。

令和2年8月7日付で、国土交通省から「『新しい生活様式』を踏まえた身近な公園利用のポイント」について事務連絡がありました。

全国約11万箇所ある公園など緑とオープンスペースをフル活用し、新型コロナに負けない健康的なライフスタイルを支えるための利用の4ポイントです。

- ① 体調が悪い時は利用を控える。特に、夏季の熱中症症状には特に注意。
- ② すいた時間・場所を選び、ゆずりあう。屋外でも、三密のうち「密集・密接」は要注意。公園管理者の注意事項や情報発信を十分確認する。
- ③ 人と人の距離をあける。できれば2m以上。
- ④ こまめに手洗いをする。特に遊具など多くの人が触れるもので遊ぶ場合は、こまめに手洗い、または、手指消毒を。

以上のポイントを守りながら、また、公園管理者の注意事項も確認して、健康づくりに身近な公園や緑地を活用してください。

公園緑地の存在の有り難さを再認識し、諸注意を守りながら大いに利活用しようではありませんか！

「新しい生活様式」を心がけて公園をつかおう！4つのポイント (国土交通省HP)

New Normal Park Lifeポスター (一社) 日本公園緑地協会HP)

ほっと

相談員ニュース

ダリア

緑の相談員 竹内 聖雄

◆ダリアについてその由来

ダリアの起源は古く、15世紀頃のアステカ帝国(現在のメキシコ)で神聖な花として栽培されていました。その後ヨーロッパに種が渡り、スペインのマドリード植物園で栽培がはじまった後、ダリアは、日本には天保12年(1842年)にオランダ船によってもたらされたと言われていました。

ダリアの名前は、スウェーデンの植物学者でリンネの弟子であったアンデシュ・ダール(Anders Dahl)の名前にちなんでつけられたものです。天竺牡丹(テンジクボタン)という和名の由来は、インドを経由して日本に持ち込まれたことと、花の形がボタン(牡丹)に似ているからだといわれています。

◆花言葉

ダリアには「優雅」「気品」「栄華」「気まぐれ」「裏切り」などの花言葉があります。

ナポレオンが活躍していた時代に、ダリアはその美しさを巡って争いを起こしていたのです。ナポレオンの妻ジョセフィーヌはとてもダリアを愛しており、庭に沢山のダリアを育てていました。ある日あまりに美しいダリアを譲ってほしいという貴婦人が現れましたが、ジョセフィーヌは軽くあしらいます。貴婦人は怒ってお金を使いジョセフィーヌの庭師を丸めこみ球根を盗ませたのです。

しかし、この事はすぐにバレて、ジョセフィーヌの逆鱗に触れます。庭師と貴婦人はジョセフィーヌによって追放されたのです。この事件がきっかけで「裏切り」という花言葉が付いたとされています。

◆日本での広まり

明治の中頃になると、盛んに栽培されるようになり、明治の末にはダリア品評会も開催されていたそうです。その後1921年(大正10年)日本ダリア会が設立されました。現在は家庭ではもちろん、ダリア園も多くあり、たくさんの種類を見ることができるようになりました。



科 名: キク科・ダリア属
学 名: Dahlia
別 名: 天竺牡丹(テンジクボタン)
原産地: メキシコ(国花)
耐寒性: 弱い 耐暑性: 強い
主な開花期: 7月-10月
花の色: 白、ピンク、赤、オレンジ、黄、紫、黒紫、黒赤

** 園芸相談コーナー **

10:00~12:00 13:00~16:00
火曜日を除く毎日

TEL 078 (918) 2405
FAX 078 (919) 5186
MAIL info_midori@hyogopark.com

当分の間、電話又はファックス、メールのみの相談としていますので、ご了承ください。



園芸教室

令和2年度10月～12月

実施日	曜日	開催時間	タイトル	講師名	定員 【名】	受講料 【円】	受付 開始日
10/ 4	日	13:30～	◆ 薬になる木・草を学ぶ <秋>	高橋 宏和	20	600	9/15
10/11	日	13:30～	◆ どんぐりで森の仲間をつくろう ～キャラクターでオブジェづくり～	山本 建也	30	600	9/15
10/16	金	13:30～	暮らしに溶け込む洋のハーブ・息づく和のハーブ④	星川 雅子	30	300	10/ 1
10/25	日	10:00～	◆ 明石公園の野草を標本で楽しむ <秋>	高野 哲司	20	300	10/ 1
10/30	金	10:00～	庭木の手入れ③ ～落葉樹の剪	宮武 忠一	20	100	10/15
		13:30～	庭木の手入れ④ ～マツの剪定・整枝～定～			100	
11/ 1	日	10:00～	◆ 明石公園の自然観察⑤	兼光 たか子	20	100	10/15
11/ 6	金	13:30～	オーナメンタルグラスを楽しむ(屋上庭園を利用して)	城山 豊	20	100	10/15
11/ 8	日	10:00～	◆ プリザーブドフラワーアレンジ① 「ブッシュドノエル(クリスマスケーキ)」 午前 / 午後、同内容	松井 敏美	20	2,100	10/15
		13:30～				2,100	
11/15	日	13:30～	日本ハンギングバスケット協会兵庫県支部 クリスマスを彩るハンギングバスケット	ハンギングバスケットマスター	20	3,500	11/ 1
11/29	日	10:00～	◆ プリザーブドフラワーアレンジ② 「お正月飾り」 午前 / 午後、同内容	松井 敏美	20	2,100	11/ 1
		13:30～				2,100	
12/ 6	日	10:00～	◆ 明石公園の自然観察⑥	兼光 たか子	20	100	11/15
12/13	日	13:30～	◆ お正月のしめ縄を作ろう!	松井 鴻	30	600	11/15
12/18	金	13:30～	暮らしに溶け込む洋のハーブ・息づく和のハーブ⑤	星川 雅子	30	300	12/ 1
12/20	日	13:30～	◆ ミニ門松づくり	山本 建也	30	600	12/ 1
12/25	金	13:30～	季節の寄せ植え <迎春>	郡司 枝美	30	3,100	12/ 1

花緑博士へチャレンジ!!

◆印は小学生以上が対象です。対象の教室を5回以上参加した小中学生には、花緑博士の認定証を進呈します。

★★お申し込み・お問い合わせ★★
花と緑のまちづくりセンター

Tel 078-918-2405

受付時間は、9時から17時迄です

お申込みは、受付開始日より先着順 ※電話のみの受付

開催場所
花と緑のまちづくりセンター 研修室



花と緑のまちづくりセンターだより 54号

●令和2年9月11日(年4回発行)

●編集発行 公益財団法人兵庫県園芸・公園協会花と緑のまちづくりセンター長 福田 稔

〒673-0847 明石市明石公園1-27 花と緑のまちづくりセンター

TEL:078(918)2405 FAX:078(919)5186 Eメール: info_midori@hyogopark.com